

# 2025年度(第5期)事業報告書

特定非営利活動法人フードバンクふなばし

## 1 事業の成果

### (1)フードバンク事業

#### ①食品の受け入れ

2025年度の食品の受け入れ量は、43,993キロ（前年度比111%）となりました。今年度は政府備蓄米の提供が7,700キロあったほか、(株)ローソン、昭和産業(株)などから大口の寄贈がありました。また個人からの寄付も堅調でした。その一方でフードドライブは実施団体・重量ともに減少しました。

#### 【食品受領実績】

	件数	重量(kg)	前年度比
個人	192	4,288	117%
企業・団体	264	28,222	115%
農家	6	351	—
コープみらいセンター回収	43	2,653	—
きゃろくんボックス	303	5,810	106%
フードドライブ	46	2,669	82%
合計	854	43,993	111%

※農家、コープみらいのセンター回収は、前年度は企業・団体にて集計

#### ②集めた食品の活用

集めた食品は地域で活動している子ども食堂や福祉施設へ提供しました。2025年度は509団体（前年度比126.6%）へ24,366.4キロ（前年度比149%）を支援しました。調理、会食を実施している子ども食堂に米や調味料、飲料、菓子類を提供したほか、食品配布している4つの食堂の活動を支援しました。

また、児童養護施設や母子生活支援施設、自立援助ホームといった福祉施設、自主夜間中学、女性支援活動団体、船橋市が実施している学習支援事業、船橋市生活支援課や船橋市保健と福祉の総合相談窓口さーくる、2つの県立高校の校内居場所カフェ、県内各フードバンクへ食品やお菓子を提供しました。本年度の団体への食品提供件数は508件と前年度の402件から26%と大幅に増加しました。

さらに今年度は初の試みとして、夏休み、冬休み、春休みに『子ども応援プロジェクト』を実施しました。休み中の子ども達に「しっかり食べて元気にすごしてもらいたい」という思いから始めた企画です。夏には米1キロと焼き鳥缶1個、冬には米0.5キロと鶏つくね缶1個、春にはパスタ1パック(600g)とパスタソースをセットにして、子ども食堂の協力のもと2,464人の子ども達に届けました、夏、冬、春合わせて69食堂が協力してくれました

## (2)食のセーフティーネット事業

米にはじまり様々な食品が値上がり続けており、子育て家庭や年金生活者の生活を圧迫し続けています。2025年度に食品支援を実施した家庭および個人は1,658件となり前年度比110%となりました。

### ①個人家庭への配送支援

船橋市の相談窓口から支援依頼があった家庭への食品配送は2025年度718家庭で前年度から71件減少しましたが、一件あたりの支援重量は18.1キロで前年度より1.8キロ増加しています。主な依頼元は、こども家庭支援課（現こども家庭センター）190件、船橋市保健と福祉の総合相談窓口さーくる219件、家庭児童相談室（現こども家庭センター）72件、東部、中央、北部、西部保健センター70件、地域包括支援センター・在宅介護支援センター26件、船橋市スクールソーシャルワーカー53件、生活支援課27件となっています。

支援家庭のうち半数以上が子育て家庭となっており、これらの家庭に向けての食品支援については特にタンパク質を重視し、ランチョンミート缶や焼き鳥缶、とりつくね缶等を支援に加えました。また季節感のある食卓を囲んでもらえるように、12月にはクリスマス食品や正月の食品を、1月には味噌、豚汁用水煮野菜、グラタンの素を、2月にはひな祭りに向けてちらし寿司の素などを箱詰めに加えました。これらの食品は通常の食品寄付では集まりづらいため、寄付金や船橋市、民間の助成金を活用して仕入れを行いました。金額にして3,213,322円、事業費の21%を占めています。

### ②パントリーピックアップ

毎月2会場で予約制にて行う、ひとり親家庭を対象とした食品手渡し会（パントリーピックアップ）の参加は940家庭となり、前年度比131%と大幅に増加しました。中学生や高校生といった食べ盛りの子どものいる家庭も多いことから個人家庭への配送支援同様に、栄養価の高い食品や季節感を重視した食品を支援しました。習志野会場の運営は薬圃台地区社会福祉協議会の方々はじめ、高校生や大学生、シニアのボランティアも加わり多世代による運営が明るい会場の雰囲気を作り上げています。

また内閣府の委託事業『地域における孤独・孤立対策に関するNPO等の取組モデル調査』が採択され、金杉会場にて7月から2月まで毎月ひとり親同士の交流会を開催しました。毎月テーマを設定してゲストを招き、教育費や子どもの性教育について話を聞いたり情報交換をしたりして、ひとり親家庭同士の横の繋がりを作ることが出来ました。

#### 【食品支援実績】

	件数	重量 (kg)	支援した 子ども人数	支援した 大人人数
個人支援	718	13,007	1,169	1,043
パントリーピックアップ	940	12,680	1,810	940
団体支援	508	24,256	—	—
合計	2,166	49,745		

### (3)次世代を担う子ども達への啓蒙活動

7月から8月にかけて船橋市が主催する『第10回地域にとびだせ!!ふなばし夏のボランティア体験』に初参加し、中学生・高校生を11名受け入れて一緒に活動しました。座学と体験を取り入れ、活動終了後には「フードバンクふなばしの子どもスタッフ認定証」をひとりずつに手渡ししました。

2021年から継続している事業として10月の食品ロス削減月間に、船橋市内の全55小学校・26中学校の児童・生徒および教職員に向けて『食品ロスってなに?』のチラシ約53,000枚を配布しました。紙面にはフードバンクの役割を図解で紹介しているほか、『減らそう食品ロスと飲み残し』というトピックス、集めている食品の内容や回収拠点を紹介し、自ら何ができるか考えるきっかけになることを目指しています。

7月と12月には千葉県青少年赤十字西部地区メンバー協議会にて講演をしました。メンバーである高校生に向けて、フードバンクの仕組みや食のセーフティーネットの役割がわかるように支援食品を箱詰めする体験活動も行いました。

### (4)広報活動

6月に船橋市北部清掃工場余熱利用施設メグスパにてフードバンク学習会を開催しました。9月には第58回ふなばし市民まつりに船橋中央ライオンズクラブとともに出展し広報活動を実施しました。12月には第10回ひがふなフェスタにて、子ども達にフードバンククイズを出題して子ども達に楽しんでもらうと共にフードドライブも実施しました。

広報紙『かなすぎレター』12号と13号を作成して、支援者、関係機関、利用団体に配布し活動報告をしました。

### (5)外部研修

中核地域生活支援センターまるっと（八千代市、習志野市、鎌ヶ谷市）にて研修を行いました。

### (6)その他の活動

#### ①会議参加

船橋市保健と福祉の総合相談窓口さーくるとの連絡会

船橋市こども家庭支援課との連絡会

船橋市中央・東部・北部・西部保健センターとの連絡会

県内生協と県内フードバンク合同フードドライブ実行委員会

千葉県フードバンク団体連絡会

ふなばし子ども食堂ネットワーク会議

船橋市生活困窮者支援官民連携プラットフォーム会議

県立生浜高校しほたカフェ運営委員会

船橋市商工会議所女性部主催「小規模事業者と女性に向けた防災について」研修

市民ネットワーク千葉県助成金審査委員

船橋市資源循環課、地域福祉課インターン生受け入れ

## ②講演、授業

青少年赤十字西部地区メンバー協議会

八千代市立大和田西小学校

千葉経済大学短期大学

コープみらい千葉1区エディター主催学習会

## ③イベント出展

千葉ジェットツふなばしフードドライブ、第58回ふなばし市民まつり、第11回ひがふなフェスタ

## (7)活動体制

常勤スタッフ	3名	
パート	1名	
配送作業スタッフ	5名	
仕分け・棚卸し作業スタッフ	5名	
食品回収スタッフ	7名	
パントリーピックアップスタッフ	3名	
広報スタッフ	2名	合計 26名
理事・監事	9名	

## 2 事業の実施に関する事項

## (1) 特定非営利活動に係る事業

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者 範囲および人数
フードバンク事業	① 個人からの持ち込み・郵送寄付受入れ ② 食品寄付ボックスを通じての寄付受入れ ③ 企業・団体からの寄付受入れ ④ 船橋市や千葉ジェッツふなばし等と連携したフードドライブ ⑤ 施設・団体への食品提供 ⑥ 子ども応援プロジェクト	2025.4.1 ~ 2026.3.31	①③⑤金杉事務所 ②市内外スーパーコンビニ24か所、市役所資源循環課、メグスパ ④船橋市公民館26か所。船橋アリーナ。メグスパ。 ⑥船橋市内子ども食堂	① 14名 ② 21名 ③ 14名 ④ 10名 ⑤ 9名 ⑥ 9名	①～④船橋市内の市民、企業、団体 ⑤船橋市内外の子ども食堂利用者、母子生活支援施設利用者、自立援助ホーム利用者、児童養護施設利用者、県立生浜高校生徒、県立船橋北高校生徒、夜間中学ふなら～ん生徒等。年間508団体 ⑥子ども食堂を利用した子ども2,464人
食のセーフティネット事業	① 配送による支援活動 ② ひとり親を対象とした食品支援会 ③ ひとり親家庭同士の交流会	2025.4.1 ~ 2026.3.31	①金杉事務所 ②金杉事務所および船橋市母子・父子支援センター ③金杉事務所	① 9名 ② 10名 ③ 5名	① 船橋市内の在住の生活困窮者718家庭（子ども1,167人、大人1,043人） ② 主に船橋市在住の児童扶養手当受給中のひとり親940家庭 ③ ひとり親32人、子ども16人
啓発活動・広報活動	① 食品ロス削減啓発チラシ配布 ② 市内外の小学校、県内の短期大学、千葉県青少年赤十字西部地区メンバー協議会にて講話 ③ 三つ折りリーフレットおよびかなすぎレターの配布（2回）	① 2025.10.1 ~10.31 ② ③ 2025.4.1 ~ 2026.3.31	①船橋市内の全小学校、中学校 ②船橋市内および千葉県内 ③主に船橋市内	①4名 ②2名 ③6名	①船橋市内の児童、生徒、教職員約53,000人 ②八千代市立大和田西小学校6年1組約40名、千葉経済大学短期大学学生約100名、千葉県青少年赤十字西部地区メンバー約50人 ③三つ折りリーフレット配布約5,000人、かなすぎレター配布約2,400人×2回

## (2) その他の事業 なし